

平成 28 年度入学者選抜試験問題
(教育文化学部・学校教育課程・こども発達コース)

記述問題

後 期 日 程

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この問題冊子は、2 ページあります。解答用紙は 1 枚あります。問題は 1 題あります。
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 4 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 5 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 6 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

<問題>

図1は、「悩み事があったときに誰に相談するか」という質問に対して、全体の回答のうち、「友だち」あるいは「お母さん」と回答した中学生の割合の推移です(1982年～2012年)。図2は、同じ質問に対して2012年の中学校1年生から高校3年生までが「友だち」あるいは「お母さん」と回答した学年ごとの割合です。これら2つの図について下の問1、問2に答えなさい。

本文省略

問1 これら2つの図から読み取れることについて300字以内で説明しなさい。

問2 図1における回答割合の時系列的な変化に影響している社会的背景について、あなたの考えを述べなさい。さらに、このような変化に対する学校教育の対応についてあなたの考えを400字以上500字以内で述べなさい。

出典：『放送研究と調査』 NHK 放送文化研究所 2013年1月号 (一部改変)